

きゅうしよくだより

れい わ ねん がつ
令和7年12月
おおさか しりつ しょうがっこう
大阪市立小路小学校

ぎょう じ しょく 行事食について知ろう



ち いき 地域によって、むかし 昔から行われている祭りなどの行事があります。このような行事には、その季節や内容にあった特別な料理を行事食といい、それぞれに意味がこめられています。給食では、しょうがつ 正月やせつぶん 節分、つきみ 月見などの行事食が出ます。わたしたちの生活を豊かにする行事を知って大切に、行事食を楽しみましょう。

しょうがつ がつ
正月（1月）

りょうり
おせち料理



ねん けんこう しあわ
1年を健康で幸せに暮らせますようにという願いがこめられています。

せつぶん がつ
節分（2月）

いわし



わざわ 災いを追いはらうために、まめ 豆をまいたり、とし 年の数だけまたは一つ多く食べたりします。

たんご せつく こどものひ
端午の節句（こどもの日）

（5月）

かしわもち



ちまき

こ 子どもの健康と成長への願いがこめられています。

おお がつ
大みそか（12月）

とし
年こしそば



うん じゅみょう
運や寿命をのばすという意味や1年の災いを切るという意味がこめられています。

とうじ がつ
冬至（12月）

かぼちゃ



ねん よる もっと なが
1年で夜が最も長い日に食べると病気を防ぐといわれています。

つきみ がつ
月見（9月）

だんご



さといも

じゅうご や つき た
十五夜の月に食べものを供え、しゅうかく 収穫への感謝と豊作を願います。

がつ こんだて
12月の献立より

冬至

がつ にち きん
12月19日（金）

や 焼きかぼちゃの甘みつけ



とうじ ことし がつ にち ねん いちばんたいようで
冬至（今年は12月22日）とは、1年で一番太陽が出ている時間が短い日のことです。冬至の日に「ん」のつく食べものを食べると、「運」を呼びこむことができるといわれ、「なんきん（かぼちゃ）」を食べる習慣があります。かぼちゃには、かぜなどの病気を予防するビタミンAやビタミンCが多く含まれています。

いま しゅん や さい
今が旬の野菜

★きくな★

がつ つか もく
12月4日（木）きくなどはくさいのごまあえ

きくは、はる きいろ はな
きくは、春に黄色の花をさかせるため、「春菊」とも呼ばれます。10月から3月が旬（たくさんとれて、おいしい時期）の野菜です。



★かぶ★

がつ つか きん
12月5日（金）かぶのゆず風味

かぶは、あぶらな科の植物で、はくさい、なのはな、キャベツなどの仲間です。日本では古くからさいばいされてきました。大阪では、11月から2月ごろに多く出まわります。

